

幼児教育学科

科目名: 保育内容(言語表現)の指導法				担当教員 氏名: 藤井 徳子					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	2年次	前期	専門科目	演習	選択	保育士資格指定科目(選択) 幼稚園教諭二種免許状科目(必修)			
実務経験を用いてどのよう な授業を行っているか: お話の会に所属し定期的に保育所や幼稚園、図書館でお話を 行ってきた経験を活かして、 授業では学生に対し具体的かつ実践的に読み聞かせや、素話の語りなどを指導している。									
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード			
幼児教育において育みたい資質能力と、その育ちに求められている援助のあり方について5 領域の1つである『表現』という視点から考える。特に、様々な児童文化を通して育つ『言語表 現』に焦点を当て、体験を通して児童文化の楽しさに触れると同時に、基本的な扱い方や作り 方などの技術修得を目指す。						児童文化 児童文化財 わらべうた おはなし 絵本 人形劇 パネルシアター ペー プサート			
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (短マトリックスで示される番号)		5. 6. 7. 8. 9.				
A 知識・理解力			幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「表現」、特に「言語表現」の ねらい及び内容並びに全体構造を理解する。						
B 専門的技術			言語表現教材の基本的な扱い方の技術を習得する。						
D 問題解決力			様々な児童文化に関する言語教材の活用法を理解し、保育構想に活用できる。						
H コミュニケーション力			言語表現活動(教材)を通して相手(子ども)とのコミュニケーションを育む。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	50 %	発表:	10 %	実技試験:	%	その他:	40 %
特記事項: 自発的な授業外学習および積極的授業参加に基づいて成績評価を行う。									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 (ディスカッション) デベート (グループワーク) (プレゼンテーション) 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 初回時に授業・レポートの進め方および評価方法を説明します。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 提出レポートにコメントを記載して返却									
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)						
			学習内容		学習に必要な時間(分)				
① 幼稚園教育要領における領域「表現」特に「言語表現」におけるねらいと内容			【事前】1年次「保育表現技術」 「保育内容(言葉)の振り返り」 【事後】①の復習		120				
② 幼児期の言語表現に関する教育内容と指導上の留意点			【事前】②の予習【事後】②の復 習		120				
③ 幼稚園教育における言語表現に関する評価について			【事前】③の予習【事後】③の復 習		120				
④ 幼児期の言語表現体験と小学校教科との関連			【事前】④の予習【事後】④の復 習		120				
⑤ 絵本① 絵本の選び方と紹介			【事前】⑤の予習【事後】⑤の復 習		120				
⑥ 絵本② 絵本の読み方			【事前】⑥の予習【事後】⑥の復 習		120				
⑦ 絵本③ 絵本の読み聞かせ 演習			【事前】⑦の予習【事後】⑦の復 習		120				
⑧ 子どもとお話の世界 (特別講義)			【事前】⑧の予習【事後】⑧の復 習		120				
⑨ おはなし① 素話・人形劇			【事前】⑨の予習【事後】⑨の復 習		120				
⑩ おはなし② おはなしの選び方・語り方			【事前】⑩の予習【事後】⑩の復 習		120				
⑪ パネルシアター(情報機器の活用を含む)			【事前】⑪の予習【事後】⑪の復 習		120				
⑫ 言語表現教材を用いた保育構想と指導案の作成			【事前】⑫の予習【事後】⑫の復 習		120				
⑬ 言語表現教材を使った実践①(個別発表)			【事前】⑬の準備【事後】⑬の復 習		120				
⑭ 言語表現教材を使った実践②(個別発表)			【事前】⑭の予習【事後】⑭の復 習		120				
⑮ 幼児の言語表現に関する保育実践の動向			【事前】⑮の予習【事後】⑮の復 習		120				
使用テキスト: 川勝泰介編著「ことばと表現力を育む児童文化」萌文書林 ISBN-13:978-4893472779				その他参考文献など: ①松岡享子 著「子ども・こころ・こと ば」こぐま社 ②松岡享子 著「サンタクロースの部屋」こぐま 社 ③松岡享子 著「子どもと本」岩波新書 ④松岡享子 著 「えほんのせかいこどものせかい」日本エディターズスクール 出版部					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 保育現場で必要とされる言語表現活動について、理論と実践の両面から学びを深めます。授業外の時間を積極的に使って、自ら保育者として の引き出しを増やしてください。									